

集めた署名は本部へ集中！

被爆 80 年核禁条約批准を

被団協がノーベル平和賞を受賞被爆国日本は核禁条約を批准せよ！



改憲発議 NO!新署名	710 筆
核兵器禁止条約批准	529 筆
2 割化負担中止	512 筆
健康保険証を残せ	379 筆
マイナ強制反対	371 筆
マイナシステム義務化撤回	110 筆

—原水爆禁止世界大会報告集会—



27 名の方が参加されました



お話しする奥田萩子さん

報告をする金田さん、菅野さん
お二人の報告は「はぐるま」に
掲載されます

—原爆写真展—

9 月 12 (金) ~ 16 (火)
亀有区民事務所 7F

主催：葛友会
後援：葛飾区
是非お出かけください

「第五福竜丸のつどい」

9 月 23 日 (祝) 12:45
夢の島第五福竜丸展示館
久保山愛吉碑前

9 月 23 日は久保山氏の命日
福竜丸展示館見学と併せて
ご参加下さい。

被爆体験談に涙した人も

8 月 30 日午後 2 時より葛生協本部で原水禁大会報告集会を行いました。集会では最初に被爆者団体「葛友会」会長の奥田萩子さん（97 歳）が 17 歳の時に長崎で被爆した状況をお話していただきました。「昭和 19 年 4 月に宮崎の実家から勤労女子挺身隊として長崎の造船所に配属されていました。昭和 20 年 8 月 9 日は長崎市内の本社へ行っていた時、真っ白い光と轟音に襲われガラスのドアは粉々になりました。それから 6 時間程近くの防空壕に避難していましたが寮に帰るために長崎港の対岸に渡ると町はがれきの山、生き物の気配もなくシーンと静まり返っていました。寮に帰る途中で生存者を見かけましたが衣服など真っ黒に焼け焦げ、腕からはワカメのようなものがぶら下がっていました。皮膚が焼けただれて垂れ下がったのだそうです。」寮生は全員無事だったそうですがその後数日のうちに数名が亡くなったそうです。その時は放射能の事は知らなかったそうですがピカドンのせいだと思ったそうです。とても貴重なお話を聞くことが出来ました。

奥田さんの体験は「広報かつしか」8 月 15 日号 1 面に掲載されています。区のホームページで「広報かつしか」を検索して見ることもできます。奥田さんは「今日私がお話しした内容を今度は皆さんが語り継いで欲しい」と訴えられました。